

船舶事故等調査報告書

平成23年4月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011那第5号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年12月16日 10時36分ごろ	
発生場所	沖縄県那覇港 那覇市新港ふ頭1号岸壁付近 (概位 北緯26°13.9' 東経127°40.6')	
事故等調査の経過	平成23年1月12日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 パシフィックファルコン、7,918トン 136458、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構及び イースタンマリンシステム株式会社 B 引船 第3 ^{だいお} 大王丸、196トン 120850、株式会社那覇タグサービス	
乗組員等に関する情報	A 船長A、二級海技士（航海） B 船長B、三級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	A 舵吊り上げピース曲損及びトランサム船底部凹損 B 船首ビット凹損	
事故等の経過	A船は、船長Aほか9人が乗り組み、那覇港新港ふ頭1号岸壁に左舷着 けで着岸作業中、B船は、船長Bほか3人が乗り組み、A船の右舷船尾か らタグラインをとって着岸支援作業中、北北東からの強風に圧流され、平 成22年12月16日10時36分ごろ、A船のトランサム船底部とB船 の船首ビットとが接触した。	
気象・海象	気象：天気 雨、風向 北北東、風力 6、視界 良好 海象：波高 約1m以下、潮汐 上げ潮の初期 強風注意報、波浪注意報が発表されていた。	
その他の事項	船長Aは、強風のため、着岸する際に使用する引船2隻を手配した。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり B船は、那覇港においてA船の着岸支援作業 中、風の影響を考慮した操船を行わなかったもの と考えられる。
原因	本事故は、B船が、那覇港においてA船の着岸支援作業中、風の影響を 考慮した操船を行わなかったため、A船の船尾方に圧流されてA船に衝突 したことにより発生したものと考えられる。	